## 1 平面ベクトルのスカラー倍と和

例題 (教科書の問題 1.1). 平面ベクトル  $a_1=\begin{pmatrix}1\\2\end{pmatrix}$ ,  $a_2=\begin{pmatrix}-2\\1\end{pmatrix}$ ,  $a_3=\begin{pmatrix}3\\-4\end{pmatrix}$  の線形結合  $2a_1+3a_2+a_3$  および  $a_1-2a_2+3a_3$  を求めよ.

演習 1.1 平面ベクトル  $a_1=\begin{pmatrix} -2\\3 \end{pmatrix}$ ,  $a_2=\begin{pmatrix} 1\\5 \end{pmatrix}$ ,  $a_3=\begin{pmatrix} 4\\-1 \end{pmatrix}$  について、次の線形結合を求めよ.

- (1)  $3\boldsymbol{a}_1 + \boldsymbol{a}_2 + 2\boldsymbol{a}_3$
- (2)  $-a_1 + 2a_2 3a_3$

例題. 
$$a_1 = \begin{pmatrix} 3 \\ 1 \end{pmatrix}$$
,  $a_2 = \begin{pmatrix} 2 \\ -1 \end{pmatrix}$  とする.

- (1) ベクトル  $\begin{pmatrix} 5 \\ 8 \end{pmatrix}$  を  $oldsymbol{a}_1, oldsymbol{a}_2$  の線形結合として表せ.
- (2)  $a_1, a_2$  は平面ベクトル全体  $\mathbb{R}^2$  を張ることを示せ.

演習 1.2 
$$a_1 = \begin{pmatrix} -2 \\ 3 \end{pmatrix}$$
,  $a_2 = \begin{pmatrix} 1 \\ 5 \end{pmatrix}$  とする.

- (1) ベクトル  $\begin{pmatrix} 4 \\ -2 \end{pmatrix}$  を  $oldsymbol{a}_1,oldsymbol{a}_2$  の線形結合として表せ.
- (2)  $a_1, a_2$  は平面ベクトル全体  $\mathbb{R}^2$  を張ることを示せ.

演習 1.3 
$$a_1 = \begin{pmatrix} 1 \\ 2 \end{pmatrix}$$
,  $a_2 = \begin{pmatrix} -2 \\ 1 \end{pmatrix}$ ,  $a_3 = \begin{pmatrix} 3 \\ -4 \end{pmatrix}$  とする.

- (1)  $a_1, a_2, a_3$  の線形結合の表し方は一意的でないことを具体例を挙げて示せ.
- (2)  $a_1, a_2$  の線形結合の表し方は一意的であることを示せ.

[ヒント] (1) 例えば  $a_3$  を  $a_1$ ,  $a_2$  の線形結合として表すことができれば、一つの具体例となる. なお、式を変形すれば、すべての例は結局、0 を  $a_1$ ,  $a_2$ ,  $a_3$  の線形結合として表す表し方が  $0=0a_1+0a_2+0a_3$  以外にもあること  $(a_1,a_2,a_3)$  が線形従属であること)を示していることになる.

(2) 教科書  $p.3 \sim p.4$  に書いてあるように、0 を  $a_1, a_2$  の線形結合で表す表し方が  $0 = 0a_1 + 0a_2$  ただ一通りであること  $(a_1, a_2)$  が線形独立であること)を示せば十分で、そこからすべての線形結合の表し方が一意的であることがいえる.